

華電の概要と中国の電力事情

1 華電の概要

- 華電は、全国に分散して石炭火力と水力発電設備を保有しており（設備容量：3,109万kW）、主力設備は山東省や黒龍江省等にある。また、先進技術を導入しながら、山東省で超々臨界圧石炭火力発電所（100万kW×2）や浙江省でガス火力発電所（39万kW×7）を建設中。急速に電源開発を進め、2003年時点の発電設備容量を2010年時点で倍増させる計画。
- 売上高についても同様に2010年時点で倍増させ、効率的な発電所運営、経営の多角化、国際化等により国際競争力を持つ発電会社となることを目標としている。

【華電主要指標（2003年）】

売上高	3,888 億円
総資産	12,401 億円
発電設備容量	3,109 万 kW
火力	2,504 万 kW
水力	605 万 kW
発電電力量	1,248 億 kWh

（出典）華電 2003 年度報告他

2 中国の電力事情

- 国家電力公司による発送配電一貫体制であったが、平成 14 年 12 月に発送分離が実施された。
 - ・ 発電...約半分を占めた国家電力の発電資産は、5 大発電公司（中国華電集团公司、中国華能集团公司、中国大唐集团公司、中国国電集团公司、中国電力投資集团公司）に再編
 - ・ 送配電・小売...国家電網公司和南方電網有限公司の 2 公司に再編

【中国の電力主要指標（2004年）】

項目	2004 年	構成 (%)	対前年伸び率 (%)
発電設備容量	44,070	100.0	12.6
(万 kW)			
火力	32,490	73.7	12.1
水力	10,826	24.6	14.1
原子力	684	1.5	10.6
その他	70	0.2	27.3
発電電力量	2 兆 1,870 億 kWh		14.8

（出典）海外電力 2005.3